



2021年 12月 24日
第100号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川 一実
編集 情宣 担当
ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



「横浜支社での現業機関における柔軟な働き方の実現について(その2)」提案を受ける

JR 東労組横浜地本は12月24日に横浜支社から表題の提案を受けました。本部～本社の交渉を終え、11月5日に概要提案を受け、地本は職場の組合員の声をもとに施策に対する議論をつくり出してきました。地本は申17号として説明申し入れを行ったところですが、本日の提案により、要員規模を含め一定の職場形態が示されました。引き続き組合員の不安が解消され、安全・健康・ゆとり・働きがいのある、労働環境を実現するために、議論を重ねていきます。

1. 発足箇所

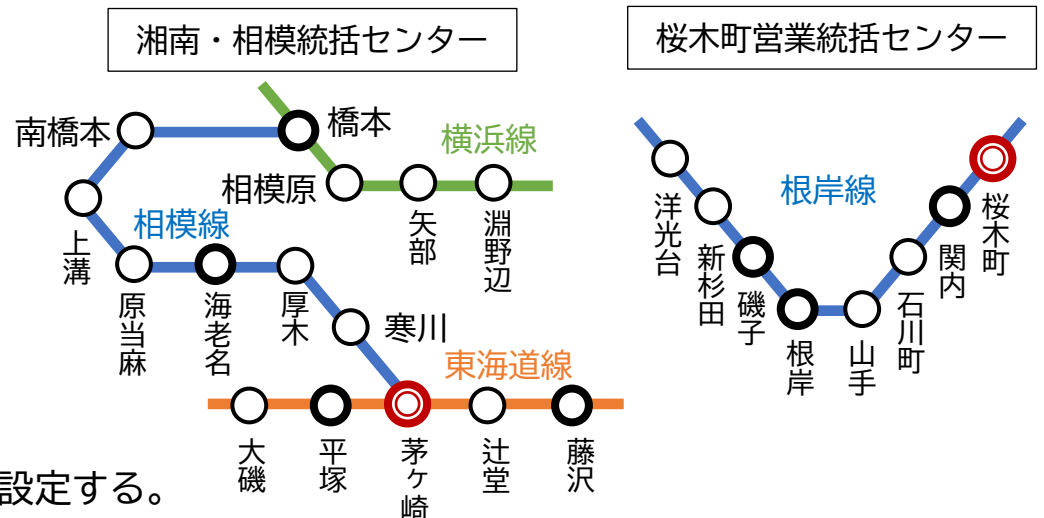
「湘南・相模統括センター」
「桜木町営業統括センター」

2. 発足日

2022年3月12日(土)

3. 体制

- ・標準数ではなく出面数で示す。
- ・業務の繁閑に応じて柔軟に出面数を設定する。
- ・上長の指示により管理者が一般社員の業務を、または一般社員が管理者の業務を行う場合がある。



(1) 湘南・相模統括センター

	出面数				計
	変形	交代	乗務員		
			日勤	泊	
管理	13	8			21
一般	9	29	4	13	55
比較	▲5	±0	▲5	▲12	▲22

※比較については統合前の各職場の出面数との差
※現・茅ヶ崎運輸区と橋本 CTC センターを含む

(2) 桜木町営業統括センター

	出面数				計
	変形	交代	乗務員		
			日勤	泊	
管理	5	3			8
一般	5	21			26
比較	▲2	±0			▲2

※比較については統合前の各職場の出面数との差

4. 提案時の特徴的な議論

組合

「業務量の示し方」の変更に至った、会社の考え方について示すこと

社員管理や勤務操配、超勤などの時間管理が分かりにくくなるという問題意識がある。説明ではなく提案をするべきである。

(営業)統括センターを「管理／一般」の出面で示しているが、業務内容が全く見えない。各現場の作業ダイヤの内容も示すべきだ。

現段階で社員が何を担うのか分からないことが課題である。

会社

厳しい経営状況により会社の体質改善が求められる。一人ひとりが様々な教務に就く。より管理しやすくするために変更する。

目安として示すものだ。今回は施策を踏まえて「出面」で示した。要員管理は基本的に会社の責任において行う。

「箇所」とはあくまでも(営業)統括センターであり、その数は示した。作業ダイヤを示す考えはない。

具体的な作業ダイヤは示す考えがなく、示す段階にもない。

新たな職場形態を担う私たちが議論をリードし、不安なく安全に業務できるようにしよう！